

●大会競技規則

1. 競技場

- ・縦30m×20mを目安にするが、当日の状況により変更あり

2. 競技者及び服装

- ・競技者は6名、うち1名ゴールキーパー（以下GK）である

3. 用具

- ・ボールはフットサル4号球（大会本部で用意）
- ・スパイク禁止※例年履いている選手がいるので指導者は徹底する事
- ・スネあて着用
- ・ツバの固い帽子は着用不可
- ・ビブス可とする。フィールドプレイヤーは色を揃える事
- ・GKはフィールドプレーヤーと色を分ける事（ビブス可）

4. 競技者の交代

- ・自由交代とする。1度交代した競技者が再び競技に参加してもよい
- ・交代は審判に断らなくても良いが、退く選手がフィールドから出てから新しい選手が入る事
- ・交代選手はコート中央タッチライン上からの出入りをする事

5. 競技時間 ※当日変更の可能性あり

- ・試合時間 前半6分－ハーフタイム1分－後半6分 アディショナルタイムは取らない  
（前半終了から後半開始の時間を1分間とする）

6. 得点について

- ・キックイン、間接FKが直接相手ゴールに入った場合は、相手側のGKスロー
- ・キックイン、間接FKが選手に触れて入った場合は、得点を認める
- ・コーナーキックから、直接得点する事が出来る
- ・キックオフが直接相手側ゴールに入った場合は、相手側のGKスロー

7. ゴールキーパー

- ・ゴールエリアを出てフィールドプレーヤーとしてプレーしてよい
- ・インプレー中にキャッチしたボールは、スローのみ可とする  
（キャッチしたボールをゴールエリアから出して、自ら足でプレーする事は不可とする）
- ・ゴールクリアランスでプレーを再開する場合は、スローのみ
- ・スローは相手コートにノーバウンドでボールを投げ入れることはできない  
相手コートに入る前にどちらかの選手に触れて超えた場合は反則とはならない  
ノーバウンドで超えた時点で、相手側にハーフライン上からの間接FKを与える

8. フリーキック

- ・相手選手への危険と思われるスライディングタックルは、相手の直接FK
- ・ゴールエリア内での間接FKはゴールエリアライン上から行い、直接FKはPK（5m）となる
- ・フリーキック時、相手チームのプレーヤーはボールから3m以上離れる

9. キックイン

- ・ボールがタッチラインを超えた場合は相手のキックインから始まる
- ・助走は軸足踏み込み時の一歩のみ、軸足が完全にコートに入った場合は相手のキックインとなる
- ・相手側プレーヤーは3m以上離れる
- ・キックインからどの選手にも触れずにゴールした場合は、GKからのスローよりプレー再開

10. ゴールクリアランス

- ・攻撃側が最後にボールに触れたゴールラインを超えた場合はGKスローとなる

11. ペナルティキック

- ・PKスポットは置かない、審判が約5Mを歩幅計測して、スポットを指示する

11. 審判

- ・第1試合審判はコート責任者が行う。以降は前の試合の負けチームが審判を行う
- ・審判は試合終了後速やかに、本部に試合結果を必ず報告する事
- ・審判服は着用しなくて良いが、スポーツに相応しい服装とする

12. その他

- ・第2試合目以降のタイムテーブルは設定しない。試合終了後、速やかに次の試合を開始する
- ・次の試合をするチームは、前の試合終了までにコート付近で待機する事

- ・試合開始に間に合わなかったチームは不戦敗とする事がある（スコアは0 - 5とする）
- ・複数チームエントリーの場合、選手の重複出場は認めない（カテゴリ/学年を超える重複も不可）
- ・予選リーグは勝点制（勝ち点3点、引き分け1点、負け0点）とする
- ・勝点と同じ場合は、得失点差・総得点・対戦相手の勝敗で順位を決定する  
これでも決しない場合は、PK戦を行う（1人目からサドンデス）
- ・決勝トーナメントにおいて同点の場合、PK戦を行う（1人目からサドンデス）